

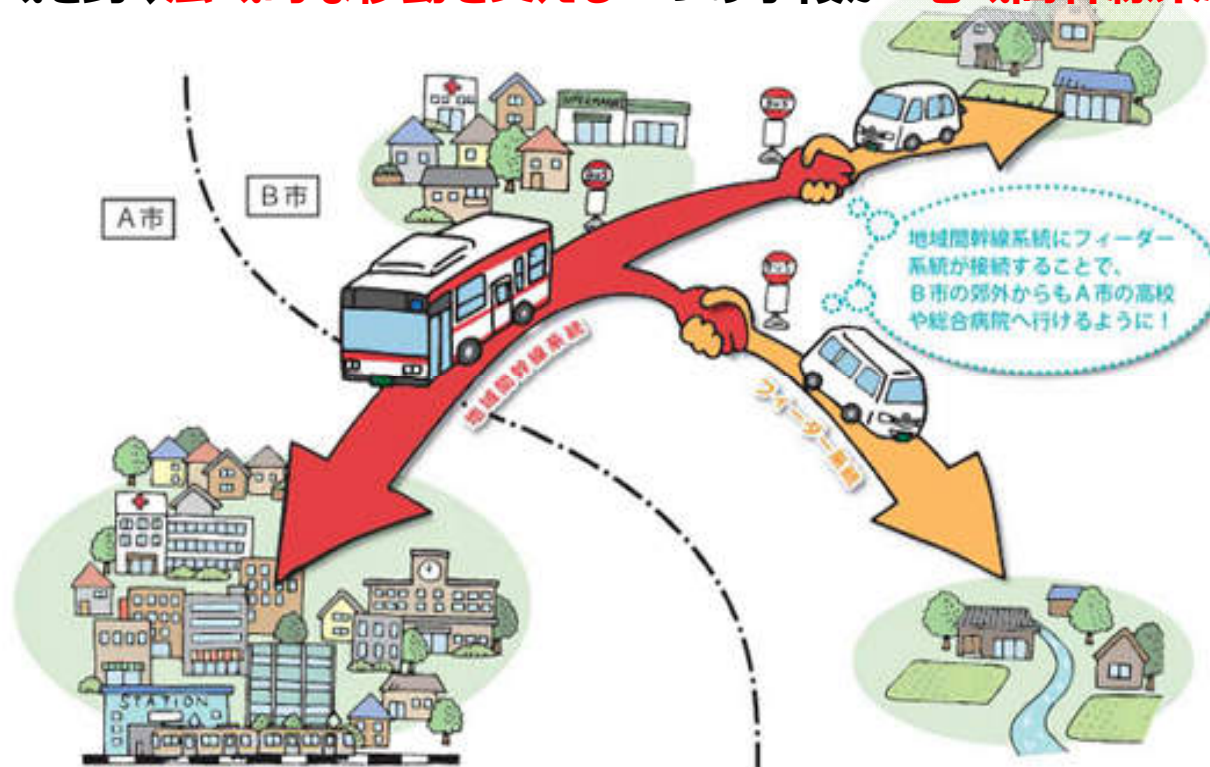
令和5年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課



地域間幹線系統とは

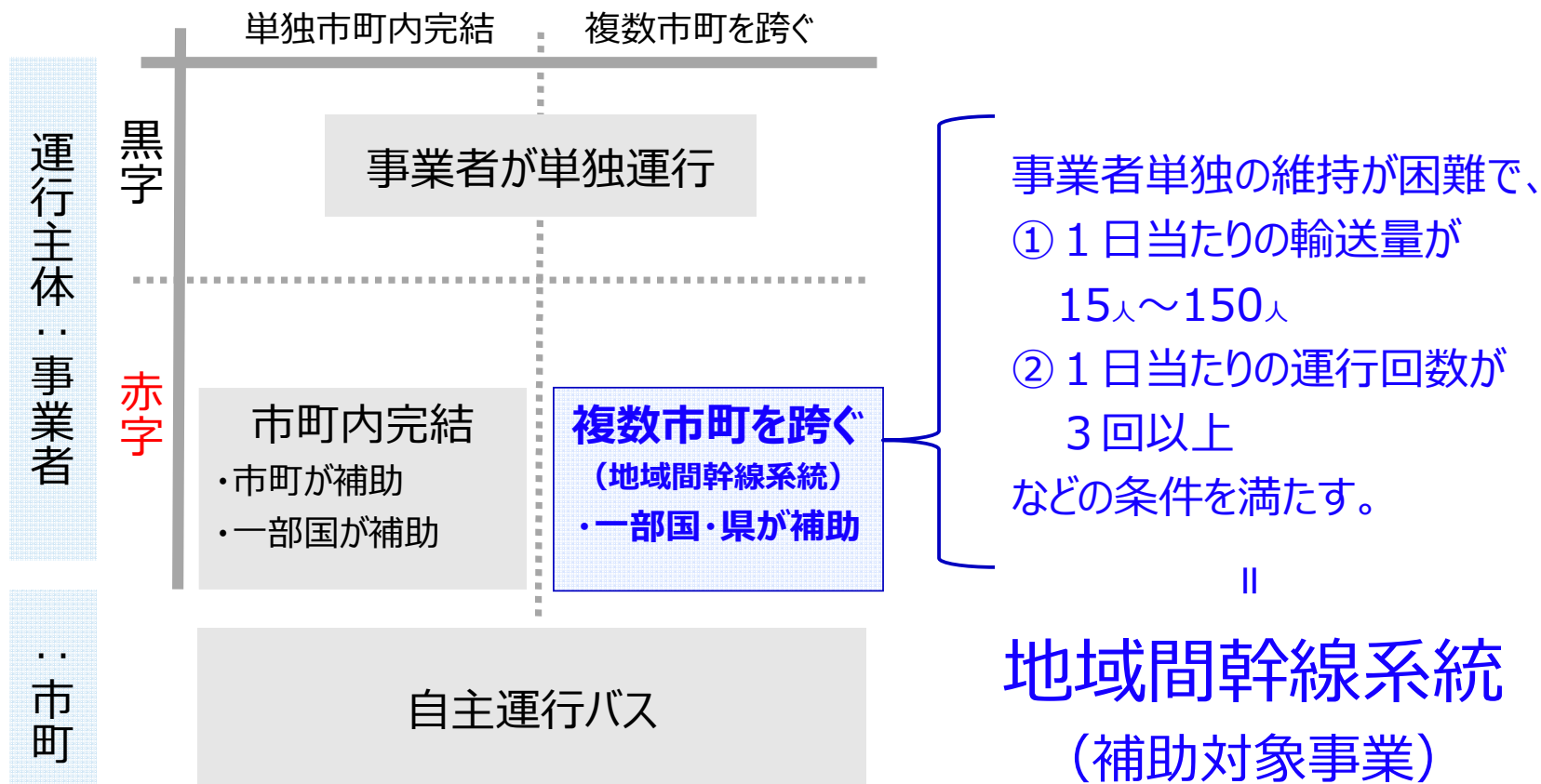
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。(出典：中部運輸局「中部の交通圏」)
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



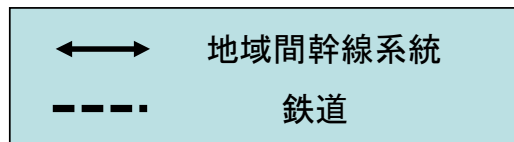
出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために(監修：中部運輸局)

地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

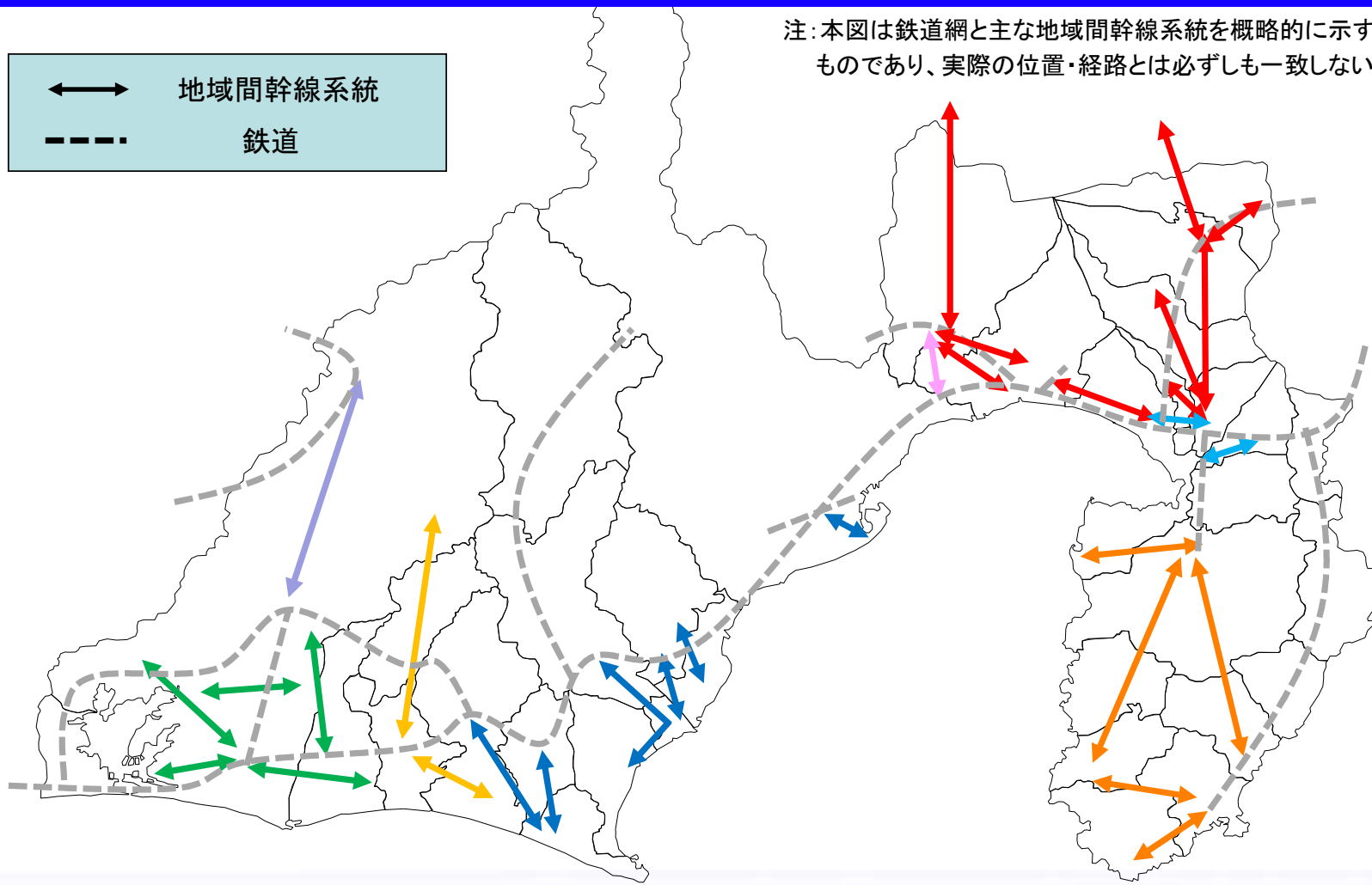
収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



県内の地域間幹線系統(概略図)



注:本図は鉄道網と主な地域間幹線系統を概略的に示すものであり、実際の位置・経路とは必ずしも一致しない。



富国有徳の美しい“ふじのくに”

静岡県

地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

- 補助対象事業が適切に行われているか確認する
- 評価結果を分析し、事業改善に繋げる
- 補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考) 事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては静岡県生活交通確保対策協議会を指す。

静岡県地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・Cで評価

項目	評価する内容	評価
①運行回数	計画値に対する実績値	計画数以上：3点 計画数未満：0点
②収支率	実績値	30%未満：0点（5%毎に3点加算） 55%以上：18点（満点）
③乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：6点、△5%以上5%未満：3点 △5%超：0点
④ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑤広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	5%未満：0点（5%毎に5点加算） 20%以上：20点（満点）
⑥キロ当たり経費	国が示す標準単価との比較	単価以上：0点（△5%毎に5点加算） △15%超：12点
合 計		A評価：52～79点 B評価：26～51点 C評価：0～25点

令和5年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	系統数
山梨交通	0	1	0	1
秋葉バスサービス	4	0	0	4
遠州鉄道	11	8	0	19
しずてつジャストライン	1	10	0	11
富士急モビリティ	3	1	0	4
富士急バス	2	0	0	2
富士急静岡バス	4	0	0	4
富士急シティバス	3	3	0	6
伊豆箱根バス	3	1	0	4
東海バス	6	0	0	6
水窪タクシー	0	1	0	1
合 計	37	25	0	62



評価結果内訳(昨年度との比較)

昨年度に比べ、11系統の評価が向上 (平均点は3.1増加)

	事業者名	系統名	R 4	R 5	比較
1	山梨交通	富士宮駅～イオン、皇山台～薄原南院	B	B	—
2	秋葉バス サービス	秋葉線	A	A	—
3		秋葉中遠線	A	A	—
4		秋葉中遠線	A	A	—
5		秋葉中遠線	A	A	—
6		大久保線	C		
7		伊佐見線	B		
8		浜北区大三方原型線	B	A	○
9		伊平線	A		
10	遠州鉄道	磐田市立病院福田線	B	A	○
11		中ノ町磐田線	B	B	—
12		秋葉線	C	B	○
13		磐田天竜線	B	A	○
14		磐田天竜線	B	B	—
15		掛塚さなる台線	A	A	—
16		内野台線	A	A	—
17		内野台線	B	A	○
18		磐田市立病院福田線	B	B	—
19		引佐線	A	A	—
			萩丘都田線	A	A
		大塚ひとみヶ丘線	B	B	—
		気賀三ヶ日線	A	A	—

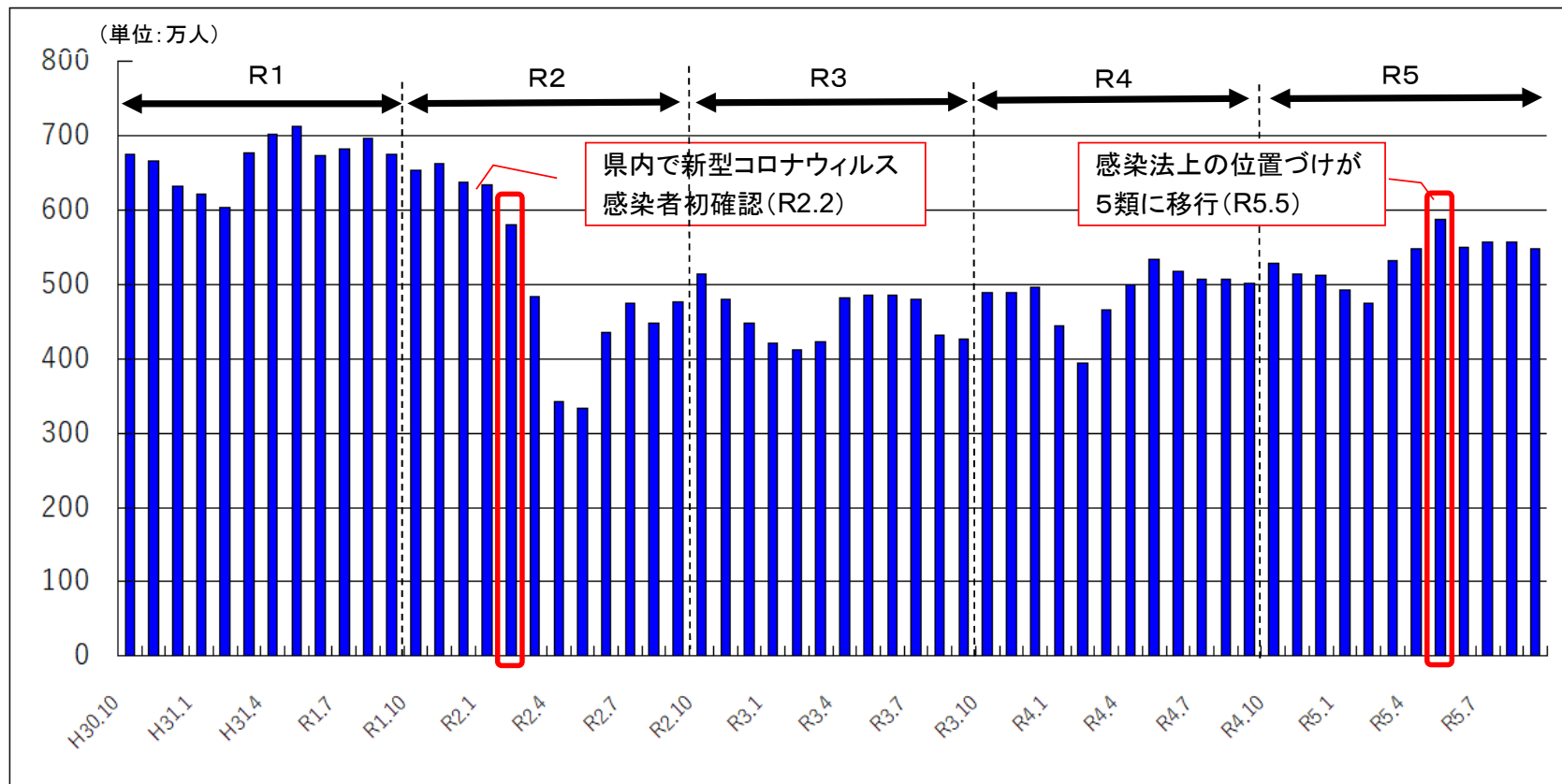
	事業者名	系統名	R 4	R 5	比較
20	遠州鉄道	奥山線	A	A	—
21		志都呂宇布見線	B	B	—
22		志都呂宇布見線	B	B	—
23		浜名線	B	B	—
24		掛塚さなる台線	A	A	—
25	しずてつ ジャストライン	三保草薙線	B	B	—
26		五十海大住線	B	B	—
27		焼津岡部線	B	B	—
28		藤枝吉永線	A	B	△
29		島田静波線	B	B	—
30		島田静波線	A	B	△
31		藤枝相良線	B	B	—
32		菊川浜岡線	B	B	—
33		掛川大東浜岡線	B	B	—
34		掛川大東浜岡線	A	A	—
35		掛川大東浜岡線	B	B	—
36	富士急 モビリティ	御殿場線	A	A	—
37		駿河小山線	A	A	—
38		十里木線	B	B	—
39		河口湖線	A	A	—
40	富士急バス	河口湖線	A	A	—
41		新富士線	B	A	○

	事業者名	系統名	R 4	R 5	比較
42	富士急 静岡バス	曾比奈線	A	A	—
43		大淵線	A	A	—
44		大月線	A	A	—
45		大月線	A	A	—
46	富士急 シティバス	駿河平線	A	A	—
47		須山線	A	B	△
48		須山線	B		
49		原線	B	B	—
50		桜堤線	B	B	—
51		がんセンター線	B	A	○
52		がんセンター線	A	A	—
53	伊豆箱根バス	大場函南線	B	B	—
54		沼津大岡三島線	A	A	—
55		長岡伊豆三津シーパラダイス線 沼津静浦長岡線	A	A	—
56	東海バス	石廊崎線	B	A	○
57		天城峠線	B	A	○
58		戸田線	B	A	○
59		西海岸線	B	A	○
60		バサラ峠線	A	A	—
61		バサラ峠線	A	A	—
62	水窪タクシー	北遠本線	B	B	—

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

県内の乗合バス利用者の推移

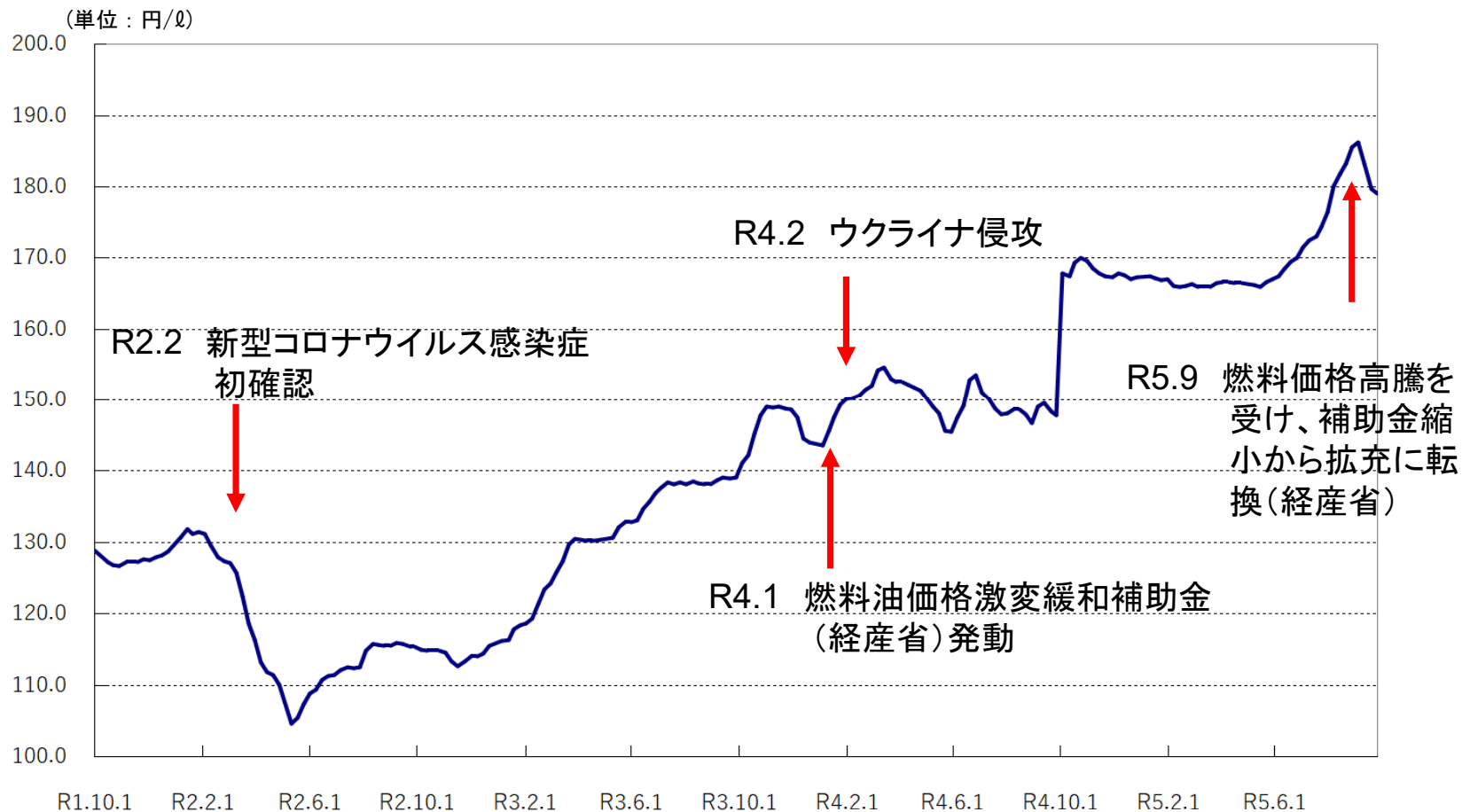
(H30.10～R5.9)



(静岡県地域交通課調査)

燃料価格など物価高騰の影響①

■ 県内の軽油小売価格の推移 (R1.10～R5.9)



(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

燃料価格など物価高騰の影響②

■ 車両維持費の推移 (H30.1~R5.9)

(物価指数：2020年=100)



(2020年基準消費者物価指数を元に県地域交通課作成)

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none">・エコドライブ取組強化期間の設定・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費を抑制・燃料使用量の削減(車両搭載燃料を抑制)・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・バスロケーションシステムの導入・スマホ定期券の販売を開始・キャッシュレス決済機器の導入・市町と連携したバスの乗り方教室の実施・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進



県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none">・ 公共交通利用券の配布・ バスの日イベントの実施・ バスロケーションシステム導入費用の補助・ キャッシュレス決済機器導入費用の補助
物価高騰 対 策	<ul style="list-style-type: none">・ 車両維持費への補助・ 燃料費高騰分の補助

